（指定の根拠）複数の情報源によると、イノサン・ジムリンダ中佐はＦＡＲＤＣ第231旅団司令官の一人としての資格をもって、自らが下した命令によって、2009年４月のシャリオ（Shalio）地区における軍事作戦で主に婦女子を含む100名以上のルワンダ難民を殺戮した。

国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会専門家グループの報告では、イノサン・ジムリンダ大佐は2009年８月29日にカレヘ（Kalehe）において自らの支配下から３名の児童の釈放を即時拒否した姿が目撃されている。

複数の情報源によると、イノサン・ジムリンダ中佐は、ＣＮＤＰのＦＡＲＤＣへの統合前、キワンジャ（Kiwanja）地域にて婦女子を含む89名の非戦闘員が殺戮された2008年11月のＣＮＤＰによる作戦に参加した。

2010年３月、コンゴ民主共和国東部で活動する51の人権団体はイノサン・ジムリンダ中佐が2007年２月から同年８月までの間、婦女子を含む大勢の非戦闘員の殺害を伴う複数の人権侵害の責任者であると主張した。同告発の中で、イノサン・ジムリンダ中佐は数多くの女性・少女の強姦の責任者としても非難された。2010年５月21日の児童と紛争に関する国連事務総長特別代表の声明によると、イノサン・ジムリンダ中佐はキミアⅡ作戦の最中を含め児童兵の恣意的処刑に関与した。同声明によると、国連コンゴ民主共和国ミッション（ＭＯＮＵＣ）が部隊から未成年を選別するための機会を拒否した。国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会専門家グループによると、イノサン・ジムリンダ中佐は自らの指揮下の部隊における児童兵の徴用及び管理に関し直接的な命令責任を負っている。

31. レオドミール・ムガラグ
Leodomir MUGARAGU
（別名）マンジ・レオン（Manzi Leon）、レオ・マンジ（Leo Manzi）
（生年月日・出生地）1954年又は1953年、ルワンダ共和国キガリ（Kigali）、又はルワンダ共和国北部県ルシャシ（Rushashi）
（旅券、人定情報）ルワンダ国籍。ＦＤＬＲ－ＦＯＣＡ運営担当参謀長。2011年６月現在、北キブ州（North Kivu）ワリカレ郡（Walikale）ボゴイ（Bogoyi）のキコマ（Kikoma）の森に位置するＦＤＬＲ本部を拠点とする。
（指定の根拠）公開情報及び公式報告によると、レオドミール・ムガラグはＦＤＬＲの軍事部門であるＦＯＣＡの参謀長である。公式報告によると、ムガラグはコンゴ民主共和国東部における軍事作戦の上級計画者である。

32. ジャミール・ムクル
Jamil MUKULU
（別名）ムシャラフ教授（Professor Musharaf）、スティーブン・アリラバチ（Steven Alirabaki）、ディヴィッド・チャグラニ（David Kyagulanyi）、ムセズィ・タレンゲラニミロ（Musezi Talengelanimiro）、ムゼー・ツツ（Mzee Tutu）、アブドゥラ・ジュンジュアカ（Abdullah Junjuaka）、アリラバチ・チャグラニ（Alilabaki Kyagulanyi）、フセイン・ムハマッド（Hussein Muhammad）、ニコラス・ルウム（Nicolas Luumu）、タレンゲラニミロ（Talengelanimiro）
（生年月日・出生地）1965年又は1964年１月１日、ウガンダ、カユンガ県（Kayunga）、ンテンジュル郡（Ntenjeru）、ントケ村（Ntoke）
（旅券・人定事項）民主同盟軍（ＡＤＦ）の長、又はＡＤＦの指揮官、ウガンダ国籍
（指定の根拠）国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会の専門家グループ報告書を含む公開の公式な報告によれば、ジャミール・ムクル氏は、コンゴ民主共和国で活動する外国武装集団であり、国連安保理決議第1857号４(b)の規定にあるＡＤＦ兵士の武装解除及び自発的帰還・再定住を妨げているＡＤＦの軍事的指導者である。

国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会の専門家グループ報告書は同人はコンゴ民主共和国の領内で活動する武装集団であるＡＤＦに対し、リーダーシップと物資の支援を与えたと報告している。

国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会の専門家グループを含む複数の情報源は、同人は国際的テロリスト・ネットワークとのつながりを監督することを含め、現場のＡＤＦの軍隊の政策に影響力を行使し続け、資金を提供し、彼らの活動に対する直接の指揮と統制を保持しているとも報告している。

33. ンタボ・ンタベリ・シェカ
Ntabo Ntaberi SHEKA
（生年月日）1976年４月４日
（出生地）コンゴ民主共和国ワリカレ郡（Walikale）
（旅券・人定事項）マイマイ・シェカ・グループ、最高司令官、コンゴ民主共和国国籍。
（指定の根拠）マイマイ・シェカの政治部門の最高司令官であるンタボ・ンタベリ・シェカは、コンゴ民主共和国の武装集団の政治的指導者であり、兵士の武装解除、動員解除、再統合を妨げている。マイマイ・シェカはコンゴ民主共和国東部のワリカレ郡の基地から活動しているコンゴ民主共和国を拠点とした民兵集団である。

マイマイ・シェカ・グループはビジエ鉱山の接収、住民に対するゆすりなど、コンゴ民主共和国の東部の鉱山への攻撃を行った。

ンタボ・ンタベリ・シェカはまた児童を標的とした、重大な国際法違反を犯した。同人は、コンゴ民主共和国政府軍に協力していると見なされた地域住民を罰するため、2010年７月30日から８月２日までのワリカレ郡における一連の攻撃を計画し、指揮をとった。この攻撃の間に、児童が強姦・誘拐され、強制労働させられ、残虐、非人道的または品位を傷つけるような扱いを受けた。マイマイ・シェカ民兵集団はまた少年を強制的に徴兵し、徴兵期間の後も児童を軍に留め置いた。

○財務省告示第六十一号

財政法（昭和二十二年法律第三十四号）第三十四条の二第一項の規定に基づき、平成二十三年度分の予算について、支出負担行為の実施計画につき財務大臣の承認を経なければならない経費を定める件（平成二十三年四月財務省告示第百十四号）の一部を次のように改正し、平成二十四年二月八日から適用する。

平成二十四年二月十日　　財務大臣　安住　淳

別表　一　一般会計　(1)　歳出予算（繰越経費を含む。）を次のように改める。

所　管	組　織	項
内　閣　府	内　閣　本　府	地域自主戦略推進費
		地域再生推進費
		東日本大震災復旧・復興推進費
		沖縄振興自主戦略推進費
		沖縄米軍基地所在市町村活性化特別事業費のうち
		沖縄米軍基地所在市町村活性化特別事業費補助金
		沖縄北部活性化特別振興事業費のうち
		沖縄北部活性化特別振興事業費補助金